

目指せ制服ダンディ



東山中で講座 おしゃれのこつ学ぶ

衣服を通して心を育む「服育」をテーマにした講座が二十一日、京都市左京区の東山中であった。京都服育研究会のメンバーを講師に招き、一、二年生がクイズなどを通して服装のルールやおしゃれの仕方を学んだ。

男子校の同中は昨年、制服を有名デザイナーが手掛けたジャケットスタイルに改めた。新しい制服の一、二年生に正しく、かっこいい着こなしを身に付けてもらおうと講座を企画した。

一年生の授業では、研

服装についての話を聞く東山中の1年生（京都市左京区）

研究会の有吉直美さん（三五）が約四十分間、クイズを交えて、服装のオン（制服や作業着）とオフ（私服）の切り替えの重要性や色彩が与える効果などを説明した。「上着のえりや袖からシャツをちよつと見せるぐらいの方がおしゃれに見える」とポ

イントを挙げたり、英国の社交界のスターが太った王様をかばって上着の一番下のボタンをつけなくなったという「アンボタンマナー」の由来を紹介し、関心を引いた。一年の梅村和哉君（二三）は「知らないことがたくさんあり、勉強になった」と話していた。

京 都 新 聞

2006年（平成18年）11月22日 水曜日